

# スケープ ゴート



元アルソック系

源 光 著

この噂は事実だったか!?



## 日常のニュースで見る仕立てられた人々

---

読者はもうお忘れかと思うけど、どこか地方で生じた中学での技術家庭教員の木屑食わせ事件については、一時期あらゆるメディアを賑わせた。

メディアの報道だとこのようだ。

鉋掛けの実演を見せたとある技術教師はその見事さを誇示する目的で、生徒へ、所持しているかつおぶしとその鉋屑を混ぜ合わせて、希望者だけ食べさせたと言う！？俄かでは信じられない話だ。

問題はこの真偽について、詳しく吟味をされず、闇に葬られている状態だと言うこと。

テレビと新聞そしてその息の掛かる御用ネットの内容を、読者は疑いなく信じていること。

そしてだ。

このような信じられない報道をこれまで幾度となくされてきたことだ。

その裏を読まずして、その文章通りに信じてしまう国民性は、大本営発表で培われた古来からの風潮を感じずには居れんだろう！？

信じられない！？と言うのはどこかで嘘を蔓延らせている可能性だってある。

私は大手警備会社の経歴を持つ警備員と言う立場から見ても、このようなおかしな情報の裏に、何か深い事情を感じている。

この教師はたまたま変人だったのだろうか！？

それともスケープゴートに掛けられ安い性格をされていて、周りからいろいろ話の主流にされていたか！？

ちょっと変わっている性格をいいことにして、話をデコレートしていないだろうか！？

私のこれまでの警備経験だと、犯人に仕立て上げられ安い人ほど犯人ではなく、意外と言える人ほど犯人だった場合は多々あった。

しかもだ。

日本人の大衆性と言える同調圧力によって、増々、真犯人は影に隠れやすくなっていたのだ。

そしてそれを増長しているのは決め付けそして！？

本人の目の前では言えないで、他人にその非を言う国民性に見受ける。

この過程で話へ尾鰭を着かせて、思わぬ方を犯人に仕立ててしまう可能性を、多く見受ける。

このような悪のシステムを撲滅する目的でこれからこの一著を展開させて貰いたいと思う。

更に付け足すのは、日本人独特の潔癖症と言える性格によってか、「こう言うことは言うべきでない！！」なんて言う風潮によって、不正を暴こうと言うジャーナリストは誹謗中傷のレッテルを貼り付けられて、その不正部分はベルトコンベヤー式に地下へ潜ってしまうことだろう。

彼らとてそれを職業とするから、読者間での一方的と言える恭順を迫られる状態となる。

よって外国と比較して従順なジャーナリストを輩出する結果となるのだ。

これを別の言葉で言えばジャーナリズムの崩壊と言えるべきものだ。

後は、けして地方で起こった一連の教師不祥事は、事実隠匿によつての誤認捜査だったと言う意味でなく、もう一つの可能性と言うことで、この後機会あらば、この後の紙面で述べて行こうと思う。

## 割烹着の可愛いリーダーさんはあつと言う間にデータ改竄疑惑の真っ只中へ！？

---

さあ！？小保方晴子と言う女性の私なりの印象は、題名の通りの可愛そうな人と言うイメージだった。

その一連のストーリーはどう見ても不可解さを隠せない。

その見開き1ページ目はN\*\*によって特集をされた「割烹着を着たユニークな研究リーダー」だった。

そしてだ。

IPS細胞を陰に潜めて、新しい幹細胞を見つけた、医療外のチームの快挙だった。

医学研究のチームではなく、化学分野の傍系のチームだったと言えよう。

細胞を酸に浸しただけで、その細胞は幹細胞に変化したと言う研究論文は、あつと言う間に脚光を浴びる。

その細胞はES細胞でもなく唯、酸化作用によって、どのような臓器にも変化する、明るい希望を投げかけるものと言うことで、STAP細胞と名付けられた。

けれどもだ。

外国のある研究者から、何回やっても再現性はないものと言う結果を返されてきたのを、この事件の幕開けとする。

そう言うところから疑惑の目は向けられて、添付写真の過去物の利用と、データの改竄と作成ソフトのバージョンの古さと、いろいろきな臭い話となってきた。

しまいにはデータ改竄疑惑で、博士号撤回とチームの解散、そしてあらゆる周囲の罵声と嫌がらせによって、体重は目に見えて減少して、不正疑惑の渦中へ引き込まれてしまった人と言える。

さあこの真偽についてはこの場で述べない。

それよりどうして彼女は批難の渦中へ引き込まれてしまったかと言えば、その原因はN\*\*によっての「可愛い割烹着のリーダー」報道へ目を背けることは出来ないだろう。

どうしてかと言うとアメリカ他外国ではいざ知らず、日本では同質性に赴きを於く風潮を持っている。

この場所から彼女は国民にとっては「出るくい」だったと言える。

こう言う場所から批難の種を国民に植え付けていたのだ。

この日本の同質性偏重の風潮に彼女はすぐに気着くと、後の一連の事件は生じないでいたろう。

このN\*\*の報道そのものへSTAP細胞事件のキーを見受けたのだ。

彼女のキャラクターは「変人」と言う酷い印象を国民に与えたN\*\*の功罪は大きいと言える。

他の国ではほとんど問題にされないその性質を日本はしつこく問題にする。

どうして国民はこうなったかは私の前著の「この世界の表に出ない悪魔！！」をご一読を。

この場所では簡単に言うことで許して貰おう。

GHQは日本の文化風潮を研究して、どうしたら日本には、天才とか秀才を出来ないようにするかわかり得た。

日本には古くから村と言う集団的運営方法を講じていて、少しでも浮いている者を見受けると、



村八分と言う阻害的政策をしたのだ。

田植えを手伝わない！！

郵便物を留め置きにする！！

電気を送らない！！

この三つを村長の権限でやっていたのだ。

このような環境で能力の抜きん出た者は育つわけではない。

そのシステムをGHQは制服教育と言う画一的教育に変化させて採用したのだ。

そう。

天才=変人=出るくい=スケープゴートとなる。

天才とはどこか常識を逸脱してしかも嫉妬の的となる。

GHQに調教された国民はそのような者を見ると猛然と攻撃したくなるのだ。

小保方晴子は実験室で割烹着を着ていた唯一人の天才だったのだ。

彼女の一連の騒動を演出をさせた張本人はN\*\*だったのだ。

読者も何らかのきっかけで脚光を浴びたらその後は要注意だ。

空高く持ち上げられて落とされるぞ。

彼らの仕事はそのようなものなのだ。

スキャンダルは手の込んだ状態で捏造をされる。

## スケープゴートの3タイプとは！？

---

このスケープゴートは複雑なようで単純で、およそ3タイプに分けられるようだ。

そのタイプの内訳とは？？

同質型スケープゴートと異質型スケープゴートそして同調型スケープゴートだ。

言っとくけど。

この三つは私の観察経験上、分類した用語で、検索しても出てこないから悪しからず。

さあ。

その内訳をこの場所で説明しておこうと思う。

その前にスケープゴートとは一般的にどう言われているかこの場で述べておきたい。

一番先の世俗的言い方だと「生贄」でいけにえと読む。

神へ供物を捧げて豊穡の感謝を表す目的で、羊（ゴート）の頭を飾ること！？を言うようだ。

そしてだ。

社会学的意味だと、その集団の問題は、ある特定の個人に投影をされて表れる現象を言う。

この言い方ではよく分からないだろう。

頭の膠着した学者の言うものは抽象的だから、後で問題を生じさせたとき、どうにでもとれる状態となって増々酷くなってしまふのだ。

一言で言えば「いつもいらぬ標的にされる人」と言うべきだろう。

そう言うことでこの3タイプの詳細を言う。

同質型とは、ある集団の者は周りとは歩調を合わそうとする中で、どうにも合わせようとも合わせられないで、いつのまにか浮いた状態になってしまうことを言う。

基本的と言えはその者は周りとは同質だけど、周りのあまりの窮屈さに耐えられなく、いつのまにか目立った状態になってしまうことだ。

一番身近と言えれば学業に着いていけない落ちこぼれのようなものとか！？

規則の多い会社でどうにも着いて行けずして辞めてしまうものとかを言う。

このタイプの特徴は、元は同質でもってしても、そのきつい風潮にてドロップアウトした者を言う。

そしてその浮いた状態の者はいろいろないらぬ攻撃に会うのだ。

異質型とは、ある集団でマイノリティーな要素を持っている者で、問題外に着いていくことは無理な状態で、浮いて目立った状態となるものだ。

色の黒いとかの身体的特徴とかで周りから差別攻撃をされる場合とか、運動神経の鈍さで置いていかれるとかの、周りとは異質の要素で浮いた状態となることを言う。

このような状態でも、目立った人と言う状態で、理不尽と言える攻撃に会う。

同調型とは先述の2要素を統合したもので、一人浮いた者とかへ、自分はけして嫌いなわけではないんだけど、周りに合わせなければ自分はやられるから、一緒に阻害したり攻撃したりすることを言う。

3タイプ中一番酷いタイプで、典型的と言える日本人に陥りやすい。

逆に言えばこの3番目を撲滅すると、日本はもっと良くなると思っている。

と言うのはこの状態はマスコミによって扇動をされ易くなっている状態で、一人餌食となると、国民全員でその者を攻撃する状態となるのだ。

その原因とか別でだ。

この3番目のタイプの原型は、村と言う体質だと言えるのは、過去の村の体制を見ると分かると言える。

村八分の者へ一人だけ味方すると、その者まで酷い攻撃を受ける。

だからだ。

この同調型は日本の風土にかなったろくでもない風潮から培われて来たと言える。

その後押しをしたのは言うまでもなくGHQだった。

日本の風土をとことん研究して戦後管理教育の礎を造ったと言える。

今でも多くの御用教育評論家は、GHQは善意で日本の戦後のシステムを造った！！と豪語している。

だけでも現代の状態は何なんだ！？と言いたい。

草食系の若者の多さに驚く次第だ。

我々50代の者からするとまるで共産的社会の出現と言っていい。

言論統制をタブーの名の下でやられていて、出版物は、スパイスの無いものばかりだ。

まともな出版物を見ると、その物は差別用語と誹謗中傷を所々見受けると言って！？はじかれる。

この原型はスケープゴートだったのだ。

世も末だと言える。

## 家族からの自立を！！と刷り込まれた我々は若者に厳しくなった！？

---

私も貴方も運よく何とかやっている。

だけども何人かの方は路頭に迷っている状態となっている。

さあ昔はそのような状態となったとき、家族は程よく助けてくれていた。

家族制度の下で程よく仕送りと、家に受け入れるのをやっていたのだ。

隣は分家だったと言う理由にこう言うところを見受ける。

今では信じられないけどこれは事実である。

だけども今は、あり余る程、ホームレスに身を甘んじている方はいるのだ。

どうしてかと言うと、いうまでもなく、実家は受け入れてくれないから他ならない。

そして恐ろしくもそれは常識となっているのだ。

外人さんからの話だと、日本ほど家族愛の薄いところはどこにもない！！なんて言っているようだ。

若者へ仕送りをする家族さえもほとんどいないようだ。

言っとくけどこれは一般論である。

うちはまったく違うと言う方もいるだろう。

分布率的観測から見ると少ないのだ。

言うまでもない。

若者とか路頭に迷っている方へ仕送りするのはタブーとなっているからだ。

社会へ巣立ったら自立しなくてははいけない。

親元を頼るのはけしからんことだ。

そう思っている世帯の多いことは驚くばかりと言える。

日本の風潮から言って、そのような考えは、常識だろうと言う方もいるだろう。

だけどもそれは風潮でも何でもない。

マッカーサーによって刷り込まれたものだ！？と言ったら読者は驚くだろうか。

7割の方は恐らく驚くだろう。

日本の風潮を踏襲していたら、このような現代社会にはならないだろうと思う。

ホームレスは劇的に減るだろうと思うし、もっと国も安定していたものと思う。

どうしてかと言うと、そう言う方を出すと家の力を見られてしまうからだ。

例えば何々家はホームレスをどんどん出しているとなると、その家の力は知れているということとなる。

分かると思うけど今だから「あいつはだらしない！！」から仕送りなどすべきでない！！なんて理屈は通るけど、家族制度のまだ健全だった戦前だった場合は、家そのものの力量を見られてしまい、更に村八分の的となったのだ。

家族制度はそのときは驚くほどの力を持っていた。

マッカーサーは日本をゆっくり解体するには家族制度を崩壊することを第一に考えていた。

日本と言う国を構成していたのは家族制度だったからだ。



核家族制を打ち立て、更に次男とか三男への援助を禁じたのだ。

これは言うまでもなく国体の成長を阻む制度だったと言える。

それを日本の風潮だと教え込まれた我々は、家を出た方にはほとんど援助をせずして、のほほんと構えている。

だけどもこれはGHQの刷り込みだと私さえも最近分かりえたのだ。

GHQは腕のいい名コックと言っていい。

普通だったらその国をオクパイしたら、それまでの国の文化をできるだけ遮断して、本国の文化を押し付けたらろう。

尤もこれをやったら返って日本国民は救済をされたと思う。

だけどもGHQは日本の文化の良いところは消し去って、悪いところを残して増幅したのだ。

例えば村と言う制度の助け合いの部分を消去して、同調圧力の部分を増幅したのだ。

これに関してはこの場所では言わない。

そしてだ。

GHQは日本の文化を残してくれた！！と多くの方は勘違いをされている。

そしてだ。

ホームレスとなった自分の家族に援助をしないことを誇りとされている。

かくして家族的と言えるスケープゴートは形成をされる。

だけどもだ。

闇雲に甘えてきていつも金だけ浚っていく方に対しては、自分でやって行けるだけの環境を造る援助をするのを要すると思う。

ときにはこれだけの環境を造ってやったんだから自分で解決しろ！！と言う突っぱねをするべきと思う。

だけども親元はそのどちらもやらないでいた。

若者や路頭に迷っている方に対して厳しい国はこうして形成をされるのだ。

## 仕事のミスから生まれる人間関係！？

---

あらゆる災いを造っている原因は職場だ！！と言うのを、多くの方は知っていると言うか、感じているだろう。

けどもそう言うのは言ってはダメだとタブー視をされているから混迷する。

例えばある方をAさんとする、上司のBさんの下で仕えていたとする。

さあ。

この二人は性格はほとんど合わないし、打ち解けるほど仲良くはない。

更に趣味も合わない。

よって共通の話題は、さっぱり湧かないけど、作業をするにはほとんど差支えはないのだ。

けどもあるきっかけでその溝は深まる状態となる。

それはAさんのミスだった。

そのミスによって日頃の鬱憤は噴き出す。

たいしたミスではないにも拘らず鬼の首をとったように、この場所からAさんは、スケープゴートとなるのだ。

そしてこのときからBさんの決めつけ回路は作動する。

あいつはドジで役立たずだ。

もちろんたいしたミスではない。

書類の一部分を書き誤っただけだ。

問題はそのようなところにあるのではない。

Bさんのいじめ好きの根性へスイッチングしてしまったところへ問題を見受ける。

そのBさんのいじめ好きの根性を育てたのは日頃のストレスだった。

その発散どころを常に求めていたところ、Aさんはミスを犯してしまったから、その場所へ流れたまでだ。

そしてそのストレスを生じさせている原因はその職場の造る独特の緊張感と言える。

そしてだ。

Aさんは運よくスケープゴートとなってくれたから、その他の方は安心して作業を熟せるような状態となる。

いじめ好きのBさんの矛先をAさんにして置くことによって、自分のミスに対する攻撃を和らげられるのだ。

よってAさんのスケープゴートによって、社内全体は程よくまとまることとなる。

統制のよい職場の秘密は一人か二人スケープゴートを見受けるところへ、皮肉さを感じざるを得ないのだ。

この状態を同調型と言って置こう。

日本独特の村タイプのものと言える。

このタイプの悪たるところはAさんへ誰も味方しないところへ見受ける。

味方をするとなら自分もスケープゴートとなるからだ。

だからだ。

ミスを犯しやすい性格を持っているとスケープゴートにされやすいのだ。

こう言う方は職場には合わないだろう。

さあAさんは止む無く辞表を提出しようとする。

けども周りからそれを止められる。

「あのくらいで挫けちゃだめだよ！困ったことは俺に相談しなよ」

やさしい先輩！？のその言葉にAさんは思い直す。

このようなやさしい先輩もいるんだったら大丈夫だ！！

けども、そのやさしい先輩は、Bさんの矛先を自分に向けられないように、職場へ留め置く根回しをしたに過ぎないのだ。

もちろんその先輩はみんなの前ではそのようなことは言わない。

言ったら同じくスケープゴートにされるからだ。

解決法は縦横のヒエラルキーに拘束をされる性格を逆手に取ればいい。

Bさんの上司へ纏わりつくのだ。

そしてその上司と仲良くすればいい。

Bさんの態度は一変する。

やって見るといい。

けどもその上司とも合わなければ逆効果となる。

ならばだ。

その上の上司と仲良くする。

それを繰り返して社長までいったら辞めてもいいだろう。

## 日本人共通の関数を調べると！？

---

一人一人の性格はすべて固有の性格をされているのは自明だと言える。

一人一人一様だったら返って不都合と言える結果を生むのは、そのような集団は争い出すとお互い妥協せずして、とことん潰しあうからだと言える。

お互い若干性格の相違をもって許しあえたり、後は異なる反応をすることで、ベクトルの正面衝突を防げるのだ。

だけども一部分だけ共通することで困った結果を及ぼす場合だってある。

その前にだ。

Sさんと言う教育学者の引用と言うか！？要約したものを出そう。

日本人は人類の出現した場所と言われるアフリカ中部から遥々押し出されて、隅っこの孤島へ逃げてきた弱い民族だとおっしゃっている。

だから押しは弱いし、臆病だし、マザコンの多いのもこの説で説明出来ると言う。

財布を持たせているのは誰だっけ！？

言うのを憚るくらい日本独特の恥ずかしい風習と言える。

日本人って臆病だったんです。

だけども私はSさんの説は支持することは出来ない。

臆病だと言うのは認めるけど、どのようにこの性格は形成をされたかは、遥々アフリカから渡って来たからと言うのは少し解せないのだ。

ミトコンドリアを調べるとその元はアフリカだと言うのは分かる。

だけどもそのようなもので進路を辿るのへ、軽率さを感じざるを得ないのだ。

黄色人と黒人そして白人など、同じ類人猿から生まれたかどうか疑問だし、進化の体系は異なるという学者さえもいる。

そう言う意味で、Sさんだけでなく、このような説を唱えている方は理屈だけを一人歩きさせるこわい学者となる。

私は別の説明の仕方を知っている。

GHQの洗脳説だ。

軽蔑するならしても良い。

だけどもこれを出さずして日本人の臆病さは語れない。

私の調べたところによれば、戦前の日本人は現代人よりずっとしっかりしていて、考え方も柔軟だったと言える。

意外と伸び伸びとされていたのだ。

個人個人の学力に応じたいろいろな進路体系を充実させていた。

何もだ。

大学へ行かんでもエリート職に着けた。

中卒後の四年くらいで医者試験を受けられる医専と言う教育機関さえも有った。

そして！？

日本のノーベル賞学者さえも戦前の教育を受けた方ばかりだ。

新幹線と言う構想じたい日本独特のものだった。

海底トンネル構想だって日本を最初とする。

その一番目は計画潰れとなった九州と韓国を結ぶものだったのだ。

更にだ。

新幹線はその計画から出たことを多くの方は知らずして涼しい様相して乗っている。

元々新幹線構想は、時速160キロの機関車で、対馬海峡を横断して大陸の満州鉄道へ乗り入れると言う突飛と言えるものだった。

その構想はGHQにて計画倒れとなった。

そう言う意味で戦前の日本人は優秀だったのだ。

けどもだ。

戦後一元化教育によって日本人は同一方向に剪定をされて、無個性そして画一的性格となってしまった。

その原因を造ったのは制服管理教育だった。

12歳からの自我の成長する時期に、画一教育をされて、同一性障害にさせてしまう。

そのような状態となると子供のように臆病となってしまふ。

さあこの臆病と言う症状はこの本のテーマと言えるスケープゴートを造る元となるのだ。

その破壊的と言えるものは「本人へ言いたいことを言えずして周りの人へその鬱憤を散逸させる」他ならない。

この悪質関数は、日本人共通のものであり、スケープゴートを造る一番の要因と言える。

「Aさんて凶々しいんだよ！！貸したものを返さないんだよ！！」

と周りへ言いふらす。

けて堂々と本人の前では言わない。

相手は強い性格だと暴力を振るうからと言える。

するとそのAさんは知らずしてスケープゴートとなって行く。

サイレントクレーマーと言うのを知っていると思う。

店のクレームをその店員に言わずして、周囲の販売エリアの客にばら撒く。

するとその店は周囲から知らずに阻害をされて行って、販売不振となり、シャッターを下ろす結果となる。

そのような状態を防ぐ目的で、最近はその客に投書させるように、店内に投書用紙を置いてあるところさえある。

アメリカと比較するのは恐縮だけど、このようなまどろっこしいことは、その国ではしないようだ。

ほとんどはストレートに言ってくるからだ。

日本人は否応なく臆病で、その結果は、スケープゴートを生じさせるというプロセスを分かりえたと思う。





## マイノリティーと呼ばれる方のスケープゴートとは！？

---

日本国内を見るとどうしてか圧倒的状态で左脳派を多くする。

利き腕に右利きとか左利きとかあるように、脳にも利き脳を見受けるのだ。

右脳派は右脳をOSとされて全体を働かせる。

左脳派は左脳をOSとされて全体を働かせる。

OSとは脳全体を統合する本部のある場所で、右脳中にあるならば、右脳の特有の性格を出現させる。

同じく左脳中にあるならば、左脳特有の性格を出現させるのだ。

右脳偏重とか左脳偏重と言う意味でないのを断っとく。

右脳派でも左脳偏重の方も入れば、左脳派でも右脳偏重さえいる。

一見複雑に見えるけど根は単純と言える。

右脳派でも左脳派でも両偏重に関係なくして、その性格は一番目に出てくるのだ。

たとえばだ。

右脳派でも左脳偏重だと左脳の性格を優先して出てくるかと言うとそうではない。

真っ先に出てくるのは右脳の性格であることをこの場所で断っとく。

偏重とは、特定の脳へ神経線維を張りめぐらせてしまっている状態である。

右脳派とか左脳派とかは先天的働きと言って、偏重とは後天的状態で生じたものと思っていい。

偏重の生じる原因は教育と仕事によっての要因を有するようだ。

受験勉強優先で左脳ばかり使用すると左脳偏重となる。

後は事務的工作を多くされてもその危険はある。

その偏りは後天的状態でその反対脳を鍛えることで、その脅威は緩和をされる。

言葉を悪くすればねじれ国会の状態とすることだ。

だけでもあまりねじれさせてしまうと、偏重と言う状態となり、その場所の脳の脅威を強めてしまう結果となる。

言うまでもないけど、右脳派でも左脳偏重となると、左脳派の悪い脅威を出して、冷酷で情に疎く、人を人とも思わない状態となる。

このようなときは、過剰ねじれ国会だから、精神状態は不安定で常に葛藤を抱えている。

それで言い遅れたけど右脳と左脳のそれぞれの働きを言おうと思う。

右脳は情緒と直感そして空間的把握をつかさどる。

別名を言うと芸術家脳とも言っている。

左脳は理論的言語的そしてシーケンシャルな作業を得意とする。

現代の多くの知的作業従事者はほとんどこの範疇に入るだろう。

前置きをあまりにも長くしたのは、これから述べることは、この基礎知識無くして理解は不可能だからだ。

マイノリティーと言う言葉を存じているだろうか！？

邦語では「少数派」と言う意味となる。

二つの要素をお互い等分とするならば、お互い拮抗して、どちらもその場所では強い立場を保てる。

だけどもだ。

7割3割となると、7割を圧倒的状态で立場を強くして、3割はマイノリティーとされて虐げられる結果となる。

さあ読者の方！？

日本人の7割は左脳偏重だ！！という精神外科医の方の話を聞いたことはあるか！？

そのMRI写真をネット公開をされたのは記憶に新しい。

とは言えそのMRI写真は、社会派勢力によってクリアをされてしまったのだ。

それぐらいショッキングと言える画像だった。

左側の脳は真っ黒でニューロンで張りめぐらせているけど、右側の脳はトマトの輪切りのように真っ平でスッポンポンの状態だった。

その状態の方を日本では7割とするのはあまりにも驚異としか言えないだろう。

だけどもこの話は疑問の残るのは言うまでもない。

そのMRI写真は患者のデータだったからだ。

その条件の下でのデータを健常者のデータへ置き換えるのは強引と言うしかない。

だけどもだ。

左脳偏重は恐らく3割はいりだろうし、左脳派さえも4割はいるんじゃないかと思うと、日本では圧倒的状态で7割は左脳を酷使している派となる。

ひとつの場所に異常者は7割もいると、その7割は正常となってしまうのは社会の皮肉さと言えるのだ。

そのような状態ではなければ異常のレッテルを貼ってしまうだろう。

彼らの言うことは、3割の方を突飛なことばかり言って、作業をやらせて見ると、何も出来ないようなことを言っている。

一見3割の方はこの話を聞くと異常に見える。

狂言的で作業能力不能の社会不適應者とも見える。

では彼らからこの7割の方を見てみようじゃないか。

機械のようにもくもくと作業をやって、いつも在り来たりのことを言って、冷酷で役に立たない者をリストラしてしまう。

このような状態を正常と言えるだろうか！？

作業マシンと言っていいだろう。

作業マシン7割から見ると3割のマイノリティー人間は役に立たない有機的ものだ。

人間的ものを見せると異常のレッテルを貼ってしまうんだよ！！

日本と言う国は！？

その証明とは何だけど日本でもって上手く行かない方は、外国に行くと、上手く行ったと言う話をよく聞く。

言っとくけど左脳派は異常と言っているんじゃない。

左脳派で更に左脳偏重を多く分布させている今の状態を異常だと言っている。

その矯正の仕方は右脳を鍛えることだ。

その具体的方法はこの場所では述べない。

この前著へ詳しく書いてある。

## 問題を提起するとスケープゴートをされる国とはNIPPONだ

---

ブログのことで恐縮だけど、殆どの方は日記程度の内容で纏めている。

その原因は言論への攻撃の高まりを抜きに語れないだろう。

文章力とかネタを枯渇したからではないようだ。

社会問題で議論するようなブログを載せると、その記事に対して、真向から攻撃する方を多くするから見たいだ。

ならばだ。

犬の写真とか花の写真そして可愛い子供の写真を載せた方を無難とするからだ。

そしてだ。

そのようなブログだったら商用を目的とするブログだったら、言うまでもなくポータルを落とすことは申し分ないものと言って、「いいね！！」とか他の足跡を落とせるものと言える。

私だったら言うまでもなくそうする。

これは保身的対処だから文句は言えない。

逆に言えばそうしなければ読者層を呼び込めないのだ。

問題はその風潮は出版界にまで及んでしまったことだ。

どう言う意味か??

犬の写真とか花の写真とか可愛い子供の写真ばかり蔓延って、その他の大切な問題を訴えかけられないでいるのだ。

言っとくけど私自身よく風景写真を趣味で撮影していたから、そのようなものを、写真集と言う状態で出版するのは歓迎出来ることだ。

だけども問題は実際は社会へ一門を投じたいにも拘らず、それをやると攻撃を受けるから、逃げの態勢をとって、止む無く、犬の写真とか花の写真とか可愛い子供の写真集を出しているとなったら、それはあまりにも哀しいことだろう。

それを言論統制社会に対する恭順と言ってもいいだろう。

言論出版の自由は憲法で保障をされているのは定説となっている。

だけどもその場所には公共福祉に抵触してはならない条件を見うける。

多数の方へ不快と言える印象を与えたらその限りではない。

問題はその不快の度合いは時代のパラダイムに拠って変化する。

昔は何でもない状態だった一文でも、現代ではとんでもない誹謗中傷の文となる場合だってある。

現代で云う差別用語などは昔は何でもない状態だった。

と言うか問題を提起するには要する言葉だったと言えただろう。

と言うのは差別からあらゆる問題は浮上するから他ならないからだ。

だからか、差別用語を禁止することは、医者に病名を言うのを禁じていることと同じなのだ。

そのような状態だから現代の著書を見ると無駄に回りくどく難解となっている。

何を訴えたいか皆目分からないし、一般の方は空読みしてリサイクルに出している。

少しでも差別用語を出すと鬼の兜を取ったように意味もなく攻撃してくる。

その裏に見受ける原因は過度のストレス社会だ。

縦社会の崇りで意味もないお叱りを受ける場合だってある。

その鬱憤をソーシャル攻撃で晴らすのだ。

禁止用語を造ることで攻撃の名分は出来る。

本末転倒と言える。

ジャーナリストをビビらせて日本のあらゆる問題は地下へ潜らせてしまう。

I氏は現代では日本を代表するジャーナリストとなっているけど、外国から見ると、地理歴史の授業を講じているに過ぎない。

よく分かりやすいと言われるけど、地理歴史の内容を諳んじているだけだと思う。

その裏に日本人は潔癖症の兆候を見うけると言える。

こう言うことを言うべきではない！！

暗黙の言論統制だ。

恐らくだ。

何割かの方は人の普通の演説を聞いただけで胸を悪くする方だっている。

その裏へ見受けるのは、マッカーサー他GHQに強められた集団潔癖症だと言うのを知るべきだろう。

GHQの思想に影響を与えたMと言う民族学者はこう言っている。

要約するとこうだ。

日本人は教育の過程で過度の緊張を与えられて集団神経症を患っている。

この国を滅ぼすのも革命をするのも賢明と言える選択だ。

さあ。

この一文を吟味して見よう。

戦後教育で過度の緊張を更に与える制服管理教育を実施したことは、悪意のある、滅ぼすと言う選択を選んだと見るべきだろうか！？

宿題だ。

もちろん提出は自由だ。

## 読者さえも知らぬ間に店のスケープゴートとなっている！？

---

これから述べる話は消費者にとってはいい迷惑の話だ。

その前に人間関係とは、場所を選ばずどのようなところでも生じる！？という原理を説明しよう。

ある場所にまったくの他人を臨場させたとする。

だけどもだ。

その他人も何回か足を運ぶと、知れた関係となって、特定の作用を及ぼす。

その作用はいずれかとなる。

その他人はいい他人か悪い他人か！？

さあ。

そう言う状態と同じくして、その場所を特定の店と置き換えれば、いい客か悪い客か！？となる。

。

その中間もないわけではない。

中間となった場合は、余程平均的人間で、棒にも鼻にも掛けられない方だと言って置こう。

だけども大抵はそのどっちかと認識をされている。

その店に何回も足を運んでいる場合は、その店のスタッフへ、話を登らせていると見ていいのだ。

。

店の警備員を経験している私だから言える。

尤もショッピングモール並みの大きいところだったら話は別だ。

だけどもそのようなところでも、何人かの方は、ピックアップをされている。

そのような大きい場所では、皮肉なところか、大部分は悪い客と言う状態で話を出させている。

だけどもそのような場所で話を出させる方は余程目立つ方だ。

そうではなく、チェーン店並みの中小企業並みの店舗の場合を、説明する。

殆どの方は善良な方だけど、少し変わった風をしているだけで、悪い客にされる場合だってある。

。

言っとくけど、その方は何も悪いことをしているわけではない。

もっと言えば、正直で隠し事の出来ない方と言える。

だけども人間関係を生じさせると、大抵いじめられ役となる方だ。

感情を正直に表に出してしまう方と言える。

店の側からするとスタッフの間では人間関係に緊張感を走らせている。

その矛先を反らすには誰かいじめられ役を見つけるべきだ。

そう言うことを考えて見ると客は格好の矛先となるのだ。

面白い方とかおかしい方を常時に話題にすれば自分に矛先は回ってこない。

若しくは軽減をされる。

だけどもそれくらいだったらいい。

何か事件を生じらせた場合は、その方を警察へ通報をされる場合だってある。



いい迷惑だろう。

しかもだ。

実際の犯人はそれによってますます混迷に陥ってしまうのだ。

一度出したらその印象を払うことは出来ないからだ。

そういう方を何度も私は見てきた。

日本人の平均的性格は、この場所まで述べてきた通り、ニヒル顔の裏で険しい性格だ。

そのような方ばかりのところへ、喜怒哀楽を正直に表す方を見うけたら、変人と勘繰られてしまい攻撃か阻害の対象となってしまう。

店と客の関係も同じだと言える。

だけでも警察他その他の保安関係の間では、そういう状態はマニュアル化をされていて、そのような愚行には乗らないようにしているのは救いと言える。

そのような愚行を生じないようにするには、最近よくやられているのは、スタッフを移籍させて特定の間関係と摩擦及び癒着を生じないようにする方法を講じるべきだろう。

どうして悪い客！？は出来るかと言うと、スタッフの緊張した人間関係の矛先を、客に向けているからと言える。

客の方も自分は平均的日本人と言うアングルから見て、差のある場合は、けして店の方とは仲良くしてはいけない。

彼らのスケープゴートはこの場所でも少数派だからだ。

## 結局のところスケープゴート気質は臆病さから来ている！？

---

車気質と言うのを知っているだろうか！？

普段は凄く臆病だけれど、車へ乗ると、気は大きくなり、割り込んだり怒鳴ったりする性格！？  
と言うか一種の病気と言っていいだろう。

言うまでもなく異常と言えるものだ。

他の外国人を見てみるとそのような気質は見うけない！？

とは言い切れないけど、よく取りざたされるのは、日本人だろう。

ほとんどの外国人は、のっけからストレートだから、目立たないだけかも知れない。

だけでも普段は紳士的と言える日本人も、車へ乗ると「バックヤロー」と、草レースをし出したリクラクションを意味もなく鳴らしまくったりする。

言っとくけど最初からそう言う気質だったらあまり深刻ではない。

会社ではいつも課長にペコペコして、机にうつ伏せている、コジンマリした方にも拘らず、アフターファイブとなって、セルシオへ乗りだすと豹変するのだ。

レーバー犯罪と言うのを知っているだろうか！？

特甲警察パトレバー！？と言う漫画で、ロボットを悪用して街中を破壊するテロリストに、同じくロボットで対抗して街を守る警察の話だ。

そのレーバー！？と言うロボットを模して、バックホウとかをレンタルして、恨みのある者の住宅を破壊して鬱憤を晴らすことを言う。

そのときは警察官を現場に到着させても、ほとんど止めることはないらしい。

警察官も手出し出来ずしてただ見ているだけだ。

下手に抵抗するとレーバーを模したバックホウのショベル部分で吹っ飛ばされる。

さあ。

このような情景を見て分かるように、日本人とは、凶器を持つと気は大きくなって何でもやりだす。

車だって凶器となりうるから同じ作用を持つ物と見ていい。

相手の生命を左右出来る立場となると、性格を変化させるその気質は、臆病の裏返しと見ていいだろう。

普段はいついじめられ役となるか！？怯えているから、ちょっとでも変わった者を見つけたら、その矛先を向けさせて、自分の保身を講じて、更に凶器を手に入れたら、今度は周囲に対して攻撃的となるのだ。

結局のところだ。

人をスケープゴートするのもあらゆる意味で保身と言えるのだ。

その意味は弱くて脆い自分を守る目的と言える。

政治家のA氏をとことんスケープゴートするのも、小保さんをスケープゴートするのも、都知事のMさんをスケープゴートするのも結局は自分に自信を持ってないからと言っていい。

SNSと言う凶器を悪用して、とことん攻撃して、このような自分でも相手を攻撃出来るんだ！！

と悦に浸っているに過ぎないのだ。

このような現状を暴いても意味はない。

どうしたらこのような病理を防げるんだろうか！？

日本のあらゆる職場を見ると、欧米には見うけない緊張状態を見うける。

相手に対してバリケードをお互い張っている。

何かだ。

日本人は身も知らぬ相手と打ち解けることはとことん苦手らしいのだ。

パブリックとプライベートを意味もなく分けてしまうのも日本人のくせと言っていい。

この場所まで言えば分かるだろう。

そのバリケードを程よく撤去すればいい。

そしてお互い相手をトラップに掛けるような態度を慎むべきだろう。

日本人で、人と付き合うことへ、ノウハウを駆使する。

こう言う状態を外人さんから見ると物笑いの種となるのだ。

ストレートに接する外人さんからすれば、相手と接することへ、ノウハウを駆使するのはまるで戦争をやっているのと同じと勘ぐられる。

作家のTさんの話だと、つい前まで日本の企業は、大日本帝国を会社へコピーした！？とアメリカ人から揶揄をされていたとか。

まるでだ。

上司と部下の関係は上官と下士官の関係のようで、企業からアメリカへ復讐しているんじゃないか！？とアメリカ人は見ていたらしいのだ。

だったら何度でも言うようだけど、このような縦横のヒエラルキーに、拘束をされる性格を造る制服管理教育を止めるべきと思う。

そしてだ。

国民へ戦後にすたれた武道教育を奨励する。

臆病さを排除する。

尤もその武道を凶器に使用したら本末転倒だけど。

言っとくけど臆病さと慎重さは異なる。

そうすれば不用意な縦社会は崩壊して、国際社会に順応した企業状態に変わるのだ。

日本特有のスケープゴートはその改革で氷解するものと思う。

このような状態を境に、日本はグローバル社会の先頭に立つ、重要な国となり得るだろう。

と思いたい。

## 日本の同調圧力と欧米のそれとは異なるわけは！？

---

さあこの場所まで読んで来られた方は、同調圧力は日本人を強くして、欧米人は希薄だと思っているだろう。

だけども実際のところそうではないようだ。

同調圧力の実験はアメリカでの「線分実験」は有名だ。

その内訳は！？

それぞれ線の長さの若干異なる線分を3枚描く。

さくら！？を何人が用意する。

さくらって何だ？？と意味分からずの場合はエキストラと言うべきか！？

劇場型詐欺役者と言うべきと言える。

さくらは多い程良い。

もちろん被験者方々には隠して置く。

何をするんだろうかは賢い方だったら分かるだろう。

さくらと被験者に線分の一番長いものを選んで貰う。

そのときさくらは中くらいの長さのものを選んで、一番長いものと言って提出する。

被験者は後の方で待機させるのは言うまでもない。

そのとき被験者は一番長いものだと思っていたものは、前の方の多くは選んでないから、自分のセンスを疑い出す。

そしてだ。

被験者は前の方々と同じく中くらいのものを、一番長い！？と言い出すのだ。

もちろん前の方々は被験者を誤魔化す目的で嘘を言っている。

こう言う試験で被験者で中くらいのを選んだ方は欧米で25%だ。

日本では何と23%だった。

おかしいですな。

日本の同調圧力を強くすると、多くの有識者は言っているにも拘らず、欧米より低いのだ。

さあどうしてだと思うか！？

欧米の学者はこの傾向を分析した結果、驚くべきことを明らかとする。

日本人は知っていても口裏を合わせる。

打算の共有する場合と言う条件付きだ。

そうでなければ人と同調しない。

試験のときは打算的共有場所はないのだ。

試験だから異なった答えを言っても迫害を受けない。

だからこのときばかりは自分の意見に忠実に従う。

迫害を受けそうな場合は「試験だったから」と言えばいいからだ。

もしこの状態は、会社で上司の意見だったら、意見を異ならせると自分に不利に働くから、否応でも合わせる。

だけでも意見を異ならせる可能性を持つ場所では、自分の意見を堂々と言う。

個別会議を開いて、一人ずつ面接式で意見を言わせるようにすると、堂々と自分の意見を言うだろう。

思ったより社会意識の強い民族だと認識したのだ。

自分の意見を持っていても、可視的場所では合わせてしまうのは、GHQの仕込んだ戦後教育の成果だと言えるだろう。

GHQは日本の古い風習をとことん調べ挙げて、いいものは捨てて、悪いものは残すというウルトラC級の離れ技をやったのけた。

だけでもこの試験で分かり得たことは、自分の意見はしっかり持っていることだろう。

だからか！？

家内の前では、会社の愚痴をとことん吹き飛ばすのは、奥ゆかしい限りだ。

自己中心性と、周りの意見には同調してしまうと言う、社会性優先的性格は欧米にはない日本人独特のものと言える。

さあこの場所までの暴いた法則でもって、冒頭で述べた「木くず食わせ事件」について、吟味して見ようと思う。

## 過去の腑に落ちない「木くず食わせ事件」を再吟味する！？

---

言っとくけど私は現地へ行って取材したわけではない。

そしてそのような事件について見識を有する立場ではない。

これから述べることはもう一つの可能性であって、実際行った警察方々の捜査を否定しているわけではないのを、この場所で断って置く。

と言うか！？この事件は警察沙汰となったかどうかとも明らかとされていない。

教育委員会沙汰となったのは明らかだけど。

まるっきりのお伽噺であって、実際の関わった現場の人物とは、まったく関係ないことを断って置く。

何度でも言うように、これから述べることは、私の警備経験とそれによって生み出された分類可能な社会的アーキタイプを駆使して、吟味する戯言と受け取って貰っていい。

このような意見もあると言うのを訴えたいのだ。

それでだ。

ネットを見てもそれに関係する文献はほとんどない。

ニュース記事のいくつかと、2チャンネルスレットのいくつか！？

どの記事も、皆、同じことを冗長にまくし立てている。

教師とは世間知らずだ！！

唯一そのような意見ばかりだ。

その事件について、異なったアングルから見ているものは、殆どないようだ。

教師悪し！？の一辺倒の意見ばかりだ。

私の意見を言う前にだ。

言っとくけど私はこの教師を庇うつもりは毛頭無い。

だけでも教師のアングルからものを見ると、新しい実像を垣間見える状態となる。

この場所で犯人と言う呼称も止めようと思う。

警察沙汰となっているか不明だからだ。

だから冒頭のイラストの鉄格子ドアは私の一方的推測と断って置こう。

Aさんと言い換えよう。

Aさんはその日、中学の技術家庭教育の実習で、その腕を見せて生徒らに興味を持ってもらおうと、かつお節！？を用意して行った。

自分の腕を見せる目的でカンナ掛けの木くずとかつお節と混ぜ合わせて、区別できないことを、分からせるつもりだった。

Aさんは校内では、職員そして生徒共々から、変人と噂をされて浮いた状態だった。

どっちかと言うと、生徒からもからかわれて、ときどき事実を歪曲させて校内中に噂を充満させていた。

右脳偏重の天才型で器用だけど周りからは理解をされなく、悪者となってしまう場合も、多い状態だった。



左脳偏重の周りから見ると、掴みどころのない奇異な人だったのだ。

場所を見ると山岳部で同調型の色濃く、周りの意見に、自分も合わせる風潮を強くする。

このような環境だと、一人の人間をスケープゴートにするには、時間を要しない。

さあそのAさんはいつものなれた手つきでカンナ掛けの実演を見せた。

そのあまりの見事さに周りの生徒は息を飲んだ。

Aさんは、その木くずの薄さを証明する目的で、自分の所持しているかつお節へ、カンナ屑を混入して区別できないことを見せた。

そのときはそれで授業を修了させた。

問題はその事実へいろいろな噂を飛び交わせてしまったことだ。

いつのまにか生徒へかつお節を混ぜ合わせて木くずを食べさせた！？と言う話となってしまったのだ。

同調型の濃い場所だったらそういう変容は不思議でもない。

Aさんだったらやるだろう！！

Aさんは天才型で変人だからだ。

と言うか！？

多くの方からそう勘ぐられている。

その推測と同調圧力で推測は事実へと歪曲をされるのだ。

生徒からもそのような噂を出させて、教育委員会は思い腰を上げる。

Aさんはその事実を問いただされて強く否定するも、あまりの周りの強い主張に沈黙することとなる。

そしてだ。

警察沙汰となっているかどうか分からぬけど「認めると言うなら拘留は勘弁して書類送検ですませる！！」と説得をされて罪を認めた。

もしこのようなことは事実だったら同調圧力の造った冤罪そのものと言える。

スケープゴートとは周りからの同調圧力で形成をされて行く。

もちろんこの場所までのストーリーは事実ではない。

て言うかそうあって欲しくはない。

だけでも周りで口裏を合わせてしまうと、本人も妥協せざるを得ない状態となるのだ。

このようなことは貴方にも降りかかる。

だけでもこの原理を知っているならば、いつかは、そのトラップから抜け出せるだろう。

と思いたいのだ。

## スケープゴート

<http://p.booklog.jp/book/107263>

著者 : yokotasakka

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/yokotasakka/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/107263>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/107263>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ